

令和 6 年度

東京都立武蔵丘高等学校 学校経営報告

東京都立武蔵丘高等学校
校長 西島 宏和

() 内は目標値

1 学習指導

【今年度の成果と課題】

- ① 大学入学共通テストにおける各教科・科目等の校内平均点：
全国平均を上回った教科・科目(受験者数 10 人以上) 情報 76.6<69.3> <>は全国平均点、(同試験の全国平均点)
- ② 教員相互の授業観察(1人あたり年2回以上) 実施率：100% (100%)
- ③ 夏期及び冬期講習等の開講講座合計数と参加生徒の延べ人数：45 講座、2182 名 (50 講座、3000 名)
- ④ 1・2 年生の自学自習時間(1日あたり)
: 1 年生 平日 126.9 分 (60 分)、2 年生 平日 112.9 分 (70 分)

大学入学共通テストは、全国平均を上回る教科・科目は1教科1科目となった。同テスト受験者数は200名以上と、昨年に引き続き多くの生徒が受験した。全国平均を上回る教科・科目を増やすことが今後の課題となる。教員の相互授業観察は全員が実施した。若手教員の研究授業には多くの教員が参加し、経験のある教員が若手教員にアドバイスするようになった。次年度は、引き続き教科会、各学年と進路指導部、教務部が連携を深め、授業改善に取り組んでいくとともに総合的な探究の時間を充実させる必要がある。生徒が自ら学習に取り組み、生涯にわたる自ら学ぶ力を養うことを目的とした自学自習ガイダンスを年4回実施し、自学自習時間を確保することができた。

2 進路指導

【今年度の成果と課題】

- ① いわゆる準難関校以上(国公立大学+早慶上理+GMARCH+成成明学獨國武)の現役合格者数
: 106 名 (120 名以上)
- ② 大学入学共通テスト出願者数：286 名 (250 名以上)
- ③ 3 年生の進路決定率：95% (95%)

国公立大学、早慶上理、GMARCH、成成明学獨國武までのいわゆる準難関大学の現役合格者数は、目標値を下回ったが、四工大、農大、三女子大まで含めると132名となった。共通テスト出願者数、進路決定率ともに、目標値を上回った。進路指導部と学年が連携し、一人一人の進路について指導をするとともに進路行事等を進めてきた結果であると思われる。最後まで諦めず学習に取り組んだ生徒と、丁寧で粘り強い教員の支援は賞賛に値する。令和7年度に向けては、一般受験だけでなく、総合

型選抜や推薦型選抜といった年内入試の対策を全教員で推進していく必要がある。

3 生活指導

【今年度の指標】

- ① 全学年のクラスにおいて1クラス1日あたりの遅刻者数：平均 1.46名（平均 1.00名）
- ②（学校評価）生徒対象「服装や身だしなみについて十分な指導がされている」に対する肯定的な意見：87%（75%）
- ③（学校評価）生徒対象「本校ではいじめ防止の対策がとられている」に対する肯定的な意見：78%（85%）
- ④（学校評価）生徒対象「本校の SNS ルールを知っている（守っている）」に対する肯定的な意見：88%（90%）

遅刻数については昨年度よりも多くなっている。特に3年生の遅刻が多いことから、重点的に対策を講じる必要がある。

遅刻指導については、生活指導部と各学年が連携して取組を進めていく。身だしなみ指導については、全校で取組について検討をしていく。いじめへの対応や SNS ルールについては、引き続きアンテナを高く張り、粘り強く指導していきたい。さらに、登下校時の自転車事故防止や自転車乗車時のヘルメット着用などの交通安全指導についても指導を推進していく。

4 特別活動・部活動

【今年度の指標】

- ①（学校評価）生徒対象「体育祭、武高祭では充実感や達成感を感じた」に対する肯定的な意見：94%（90%）
- ②（学校評価）生徒対象「本校は部活動と勉強の両立を指導している」に対する肯定的な意見：76%（80%）

6月の「体育祭」、9月の「武高祭」は、生徒が主体的に企画や準備を進めることで実施することができた。特に、武高祭では生徒以外の参観者数が4920人（令和5年度4618名）となった。また、英語暗唱大会は、11月の授業公開に実施し、本校保護者及び中学生とその保護者も参観することができた。2月には合唱祭を1、2学年合同で無事実施できた。次年度以降、生徒が企画運営する本校の伝統行事をさらにどのように充実させていくかが課題である。部活動については、多くの生徒が参加し、部活動指導員等を配置し、活動を進めている。今後は、活動場所の確保など、改築工事を見据えた準備をする必要がある。

5 健康づくり

【今年度の指標】

- ①（学校評価）生徒対象「生徒は校内の環境美化活動に取り組んでいる」に対する肯定的な意見：64%（70%）
- ② 教育相談、発達障害やアレルギー対応等に関わる教職員研修会の実施回数：2回（年4回）
- ③ 生徒対象講演会等の実施回数：3回（年3回）
- ④（学校評価）生徒対象「SCについて生徒に対し十分にアナウンスされている」に対する肯定的な意見：80%（70%）

昨年度に引き続き、校内にごみ箱を設置せずに、ごみの持ち帰りを徹底したことで校内美化への意識の向上を図ったが、さらに生徒の美化活動への参加を進める必要がある。令和5年度は感染症による学校閉鎖等が複数回実施したが、令和6年度は感染症が校内において拡大することがなく、学校閉鎖等は実施しなかった。しかし、今後も生徒に対して継続的に感染症防止に向けた意識付けをしていく必要がある。高校生の意識調査等を定期的実施し、その結果を教職員全体で共有し指導に生かすことができた。来年度に向けては、スクールカウンセラーが2名となることから、これまで以上に特別支援教育委員会、スクールカウンセラー、巡回心理士等と連携して、学校全体の教育相談機能のより一層の充実を図っていく必要がある。

6 広報募集活動

【今年度の成果と課題】

- ① 学校見学会・学校説明会等への中学生・保護者の参加者数：2560名（2500名）
- ② 授業公開への参加者：366名（700名）
- ③ 入学選抜の倍率：推薦に基づく選抜：2.56倍（3.00倍）

学力検査に基づく選抜：1.55倍（1.70倍）

夏季休業中の学校見学会は、本校教員による見学会を開催した。のべで900名の参加者があり、夏季休業中の見学会の重要性を感じることができた。また、説明会は4回対面で実施することができ、説明会では生徒を前面に出すことで多くの参加者に本校の魅力を伝えることができ、改築が控えているにも関わらず、入試倍率の維持につながったものと考えている。本校で開催する見学会、説明会以外にも多くの教員の協力で外部での説明会においても多くの参加者を集めることができた。来年度に向けては、改築の工事が本格化することから本校の魅力を発信できるように広報募集活動を推進していく。

7 学校経営・組織体制

【今年度の成果と課題】

- ① （学校評価）生徒対象「本校に入学して良かったと思う」に対する肯定的な意見：92%（85%以上）
- ② （学校評価）生徒対象「本校では先生と生徒の人間関係は良好である」に対する肯定的な意見：91%（85%以上）

＜参考＞（学校評価）保護者対象「武蔵丘高校に入学させてよかったと思う」に対する肯定的な意見：95%

観点別評価の導入に伴う評価規準の充実や各教科における探究活動及び一人一台端末を活用した授業等を推進していく。特に、総合的な探究の時間や教科横断的な学習活動を推進していく。校務支援システム等を活用し、業務の効率化をより一層推進するとともに、学校全般の業務内容の見直し等を行い、教員の働き方改革が実効的になるよう推進をしていく。「サービス事故ゼロ」は継続し、生徒・保護者・都民の信頼に応えていく。次年度においても、生徒や保護者が、「本校に入学して良かったと思う」と思えるような学校づくりを推進していく。